

会 議 記 録

会議名称		第1回杉並区立ゆうゆう館協働事業実施団体受託者候補者選定委員会
日 時		令和7年7月7日（月） 午前10:00～11:00
場 所		杉並区役所 中棟4階第二委員会室
委 員 名		東京都健康長寿医療センター研究所 研究副部長 鈴木 宏幸 聖学院大学 心理福祉学部心理福祉学科 准教授 長谷部 雅美 明治大学 経営学部非常勤講師 藤木 千草 杉並区保健福祉部高齢者担当部長 徳嵩 淳一 杉並区民生生活部地域施設担当課長 近藤 伸吾
事 務 局		杉並区保健福祉部高齢者施設整備担当課長 海津 康徳 杉並区保健福祉部高齢者施策課施設担当係長 藤澤 和彦 杉並区保健福祉部高齢者施策課施設整備推進係員 佐野 菜々花、宮木 健太、 久野 秀学
配 布 資 料	事 前	なし
	当 日	次第 資料1 ゆうゆう館協働事業実施団体受託者候補者選定委員会委員名簿 資料2 杉並区プロポーザル選定委員会条例 資料3 選定委員会スケジュール（案） 資料4 募集要項（案） 資料5 審査基準（案） 資料6 第一次・第二次審査表（案） 委嘱状 諮問書
会 議 次 第		1 開会 2 委員紹介 3 会長の選出・会長職務代理の指名 4 議事 （1）スケジュールについて （2）募集要項について （3）審査基準及び審査表について （4）その他 5 閉会

主要な発言（会議の要旨）	事務局による資料確認と委員の自己紹介を行った。 会長の選出に当たり、藤木委員より鈴木委員を会長に推薦する発言があり、この提案に対する全委員の賛同をもって、鈴木委員を会長に選出した。 会長職務代理の指名に当たり、鈴木会長より、藤木委員を会長職務代理とする案が提示され、これに対する全員の賛同をもって、藤木委員を会長職務代理として選出した。 一、議事 （１）スケジュールについて 今後のスケジュール（資料３）について事務局より説明し、各委員の了承をもって決定した。 （２）募集要項（案）について（「・」は委員の発言、「→」は事務局の回答を示す） 募集要項（資料４）について、事務局より説明した。 ・経営状況の審査方法について質問があった。 →公認会計士が作成した財務診断報告書を基に審査を行う旨回答した。 ・企画提案書（概要版）公表の意図について質問があった。 →事業者の透明性確保のために公表する旨回答した。 （３）審査基準（案）・第一次・第二次審査表（案）について（「・」は委員の発言、「→」は団体の回答を示す） 審査基準（案）・第一次・第二次審査表（案）について、事務局より説明した。 ・昨年度の選定結果への反響について質問があった。 →昨年度の選定結果への反響について回答した。 ・現状の運営状況と利用者アンケートの資料提供について質問があった。 →各館の運営状況について説明するとともに、利用者アンケートを参考情報として追加資料とする旨回答した。 審査基準及び、第一次・第二次審査表について、全委員の了承により原案どおり決定した。 事務局より今後のスケジュールの確認を行い、閉会した。
---	---

会 議 記 録

会議名称	第2回杉並区立ゆうゆう館協働事業実施団体受託者候補者選定委員会	
日 時	令和7年10月2日（木） メール開催	
場 所	（メール開催）	
委 員 名	東京都健康長寿医療センター研究所 研究副部長 鈴木 宏幸 聖学院大学 心理福祉学部心理福祉学科 准教授 長谷部 雅美 明治大学 経営学部非常勤講師 藤木 千草 杉並区保健福祉部高齢者担当部長 徳嵩 淳一 杉並区区民生活部地域施設担当課長 近藤 伸吾	
事 務 局	杉並区保健福祉部高齢者施設整備担当課長 海津 康德 杉並区保健福祉部高齢者施策課施設担当係長 藤澤 和彦 杉並区保健福祉部高齢者施策課施設整備推進係員 佐野 菜々花	
配 布 資 料	事 前	応募書類（副本）一式 財務診断報告書 利害関係確認チェックシート 審査基準 第一次審査表 第一次・第二次審査表
	当 日	資料1：第一次審査集計 資料2：審査基準 資料3：第一次・第二次審査表 資料4：第二次審査表 資料5：共通質問（案） 資料6：時間割表（案） 参考資料：アンケート集計表
会 議 次 第	1 第一次審査 2 メール会議 （1）第一次審査集計結果について （2）議 事 ① 審査基準及び審査表について ② 共通質問（案）について ③ 第二次審査の進行について	

主要な発言（会議の要旨）	1 第一次審査 9月25日（木）を締切とし、各委員が第一次審査を実施した。 2 メール会議 10月2日（木）に第一次審査集計結果及び、二次審査（ヒアリング審査）の共通質問（案）の内容について、メール会議を開催した。 （1）第一次審査集計結果について 第一次審査集計結果について、各委員の同意により結果が確定し、全応募事業者を第一次通過団体とすることとした。 （2）議 事 ① 審査基準及び審査表について 審査基準（資料2）、第一次・第二次審査表（資料3）、第二次審査表（資料4）について事務局より説明した。 ② 共通質問（案）について 共通質問（資料5）について事務局より説明した。共通質問（案）について、委員からの意見を反映した修正を行うことで、全委員の同意を得た。 ③ 第二次審査の進行について 時間割表（資料6）について事務局より説明した。
---	--

会 議 記 録

会議名称		第3回杉並区立ゆうゆう館協働事業実施団体受託者候補者選定委員会
日 時		令和7年10月23日（木） 午前10：00～午前11：50
場 所		杉並区役所 4階第2委員会室
委 員 名		東京都健康長寿医療センター研究所 研究副部長 鈴木 宏幸 聖学院大学 心理福祉学部心理福祉学科 准教授 長谷部 雅美 明治大学 経営学部非常勤講師 藤木 千草 杉並区保健福祉部高齢者担当部長 徳嵩 淳一 杉並区民生生活部地域施設担当課長 近藤 伸吾
事 務 局		杉並区保健福祉部高齢者施設整備担当課長 海津 康徳 杉並区保健福祉部高齢者施策課施設担当係長 藤澤 和彦 杉並区保健福祉部高齢者施策課施設整備推進係員 佐野 菜々花、田村 喜美子、 宮木 健太、鶴間 ひろみ
配 布 資 料	事 前	なし
	当 日	次第 資料1 第一次審査 審査結果 資料2 第一次審査 委員別審査表 資料3 審査基準 資料4 第一次・第二次審査表 資料5 第二次審査 時間割表 資料6－1 第二次審査の進め方について 資料6－2 共通質問 資料6－3 共通質問 資料7 第二次審査 採点表
会 議 次 第		1 開会 2 第一次審査の結果について 3 第二次審査の進め方について 4 団体プレゼンテーション・ヒアリング 5 第二次審査の集計結果について 6 選定団体及び実施館の決定・講評等 7 その他 8 閉会

事務局より、本日の進め方、第一次審査の結果、第二次審査の進め方について説明を行った。

本日プレゼンテーション、ヒアリング（共通質問含む）を行い、第一次審査及び第二次審査の各委員の採点結果を基に本選定委員会の受託者候補者を選定する旨、説明を行った。

各団体のプレゼンテーションに対し、ヒアリング（共通質問含む）、審査を行った。

【A 団体への主な質疑】（「・」は委員の発言、「→」は団体の回答を示す）

- ・事業を通じた多世代交流の展開について質問があった。
→他施設での実績を踏まえた展望や周知方法について回答した。
- ・高齢者が主体的に関わることのできる事業の展開について質問があった。
→利用者への接し方や、主体性を生む方法について回答した。
- ・高齢者の就労支援について質問があった。
→支援の方法について回答した。
- ・夜間事業の拡大について質問があった。
→今後拡大したい旨回答した。
- ・デジタルデバイド解消に向けた事業を提案した経緯について質問があった。
→他施設での状況を踏まえた提案である旨回答した。
- ・接遇の質向上に向けた取組について質問があった。
→利用者対応への考え方、質向上への取組について回答した。
- ・危機管理体制について質問があった。
→定期的に情報共有をするための会議を設けている旨回答した。
- ・避難方法の共有方法について質問があった。
→マニュアルを作成し、確認作業を実践している旨回答した。
- ・新規事業の提案への経緯について質問があった。
→提案事業への考え方について回答した。
- ・地域とのつながりが無い高齢者に対しての問題意識とゆうゆう館を通じた問題解決の方法について質問があった。
→ゆうゆう館の役割や、考え方について回答した。

【B 団体への主な質疑】（「・」は委員の発言、「→」は団体の回答を示す）

- ・役員の就任期間について質問があった。
→就任期間について回答した。
- ・経費について質問があった。
→実施予定の協働事業の状況を踏まえた経費の算出である旨、回答した。
- ・SNS での広報方法について質問があった。
→今後の導入予定について回答した。
- ・運営体制について質問があった。
→1 名体制で問題なく運営している旨回答した。
- ・併設施設の男性利用者を取り込む工夫について質問があった。
→事業内容の工夫や周知方法について回答した。
- ・デジタル系事業を新規に提案した経緯や背景について質問があった。

	→提案に至った考え方について回答した。 ・地域人材の発掘方法について質問があった。 →講師の発掘方法について回答した。 ・社会とのつながりが少ない高齢者へのアプローチ方法について質問があった。 →地域機関との連携を通じたアプローチ方法について回答した。 ○主な意見 【選定された団体について】 ① 選定された団体について ・両団体は、ゆうゆう館での実績があることから、提案内容に安定感、安心感があった。 ・それぞれの団体について、得意分野を感じる提案内容であった。 ・今後、SNS を活用した利用者とのつながり創出に期待したい。 ・B 団体については、ヒアリングを通して、書類審査では伝わらなかった地域に根差した提案内容であることを確認できた。 ・A団体の委員質問において、提案にないものを実施していく旨の回答があったが、そういったものも含め資料に記載することが望ましい。 ・高齢者の就労支援について、実施したい旨の回答があったが、実現するのは、すごく難しいことだと思うので、地域にも目を向けながら事業の展開を行うことを望む。 ② 選定について ・今回の公募では希望施設の競合が発生しなかったが、より良い事業を展開していくためには、多くの団体に応募いただき、多様な提案を得る必要がある。 ・応募団体の競争関係を構築するため、次回の選定に向けては、より一層募集の周知拡大に努めて欲しい。 ・既存運営団体間でも情報共有を行い、より良い運営を追求して欲しい。 ・各団体には委員からの指摘をフィードバックし、今後のより良い運営に繋げて欲しい。
--	--